



19



20



21



22



23

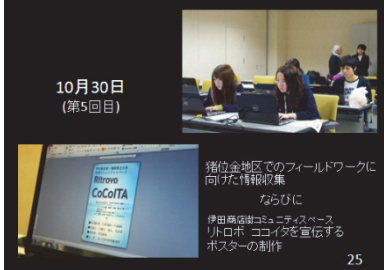


10月29日(月)



猪位金小学校・中学校の統
合協議会に出席

24



10月30日
(第5回目)

猪位金地区でのフィールドワークに
向けた情報収集
ならびに
伊田商店街コミュニティスペース
リトロフ コーポイタを宣伝する
ポスターの制作

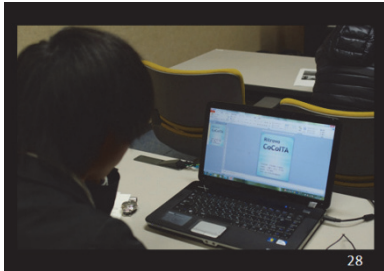
25



26



27



28



29



30



31



32



11月6日
(第6回目)



猪位金地区へのバスツアー
猪位金地区の視察および
地域の方へのヒアリングなど

33



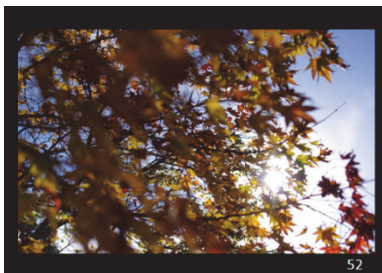
34

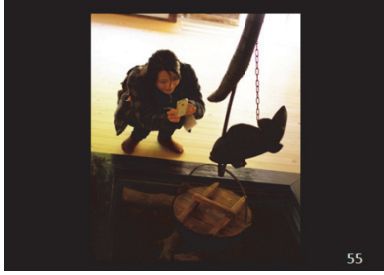


35



36





55



56



57



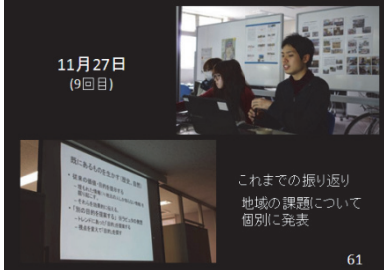
58



59



60



11月27日
(9回目)

これまでの振り返り
地域の課題について
個別に発表

61



62



63



64



12月4日
(10回目)

中里先生より
NPO法人「宗像里山の会」
についてのお話
産学連携システム講座
「福祉・保育の現場について」

65



66



67



68



69



70



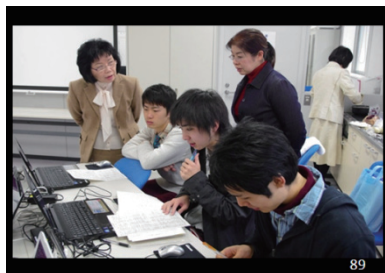
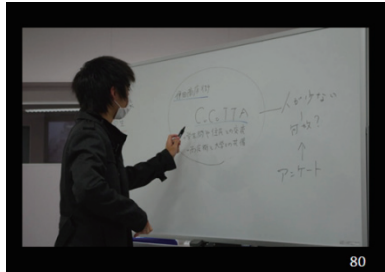
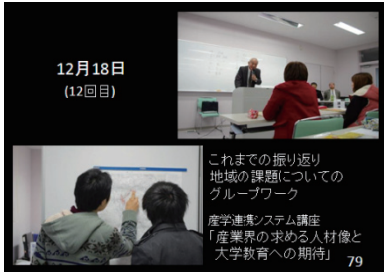
12月11日
(11回目)

飯塚市へのバスツアー
飯塚市立種保健福祉総合
センターを訪問

71



72





91



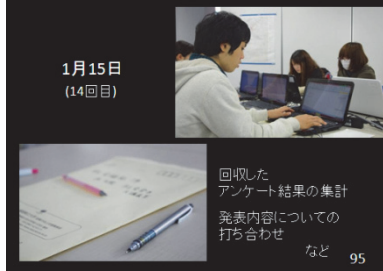
92



93



94



1月15日
(14回目)

回収した
アンケート結果の集計
発表内容についての
打ち合わせ など

95



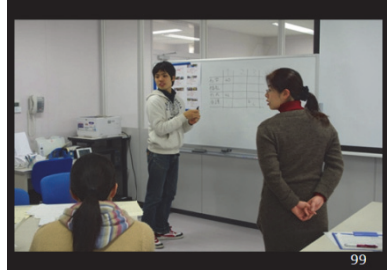
96



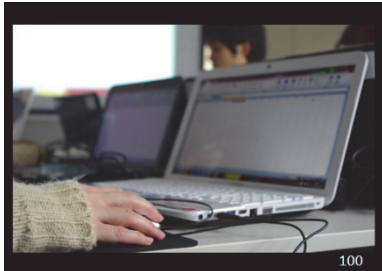
97



98



99



100



101



1月28日

発表準備
リハーサル

102



103



104



105



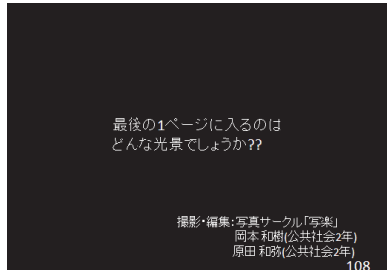
106



1月29日
(15回目)

社会貢献フォーラム

107



最後の1ページに入るのは
どんな光景でしょうか??

撮影・編集:写真サークル「写楽」
岡本 和樹(公共社会2年)
原田 和弥(公共社会2年)

108

それでは、「Ritorovo CoCoITA 知名度アップと今後の展望について」という題目で私たちの調査報告を始めたいと思います。

先ほど平成 22 年度に社会貢献論演習を受講した先輩による「Ritorovo CoCoITA ができるまで」という報告がありました。今回私たちは、授業を通して地域のことについて学ぶなかで、県大生が Ritorovo CoCoITA をどの程度利用しているのか疑問に感じたため、県大生を対象としたアンケート調査を行いましたので、報告いたします。

まず、県大生に Ritorovo CoCoITA の利用状況調査を行うことになった経緯についてです。学生が利用しているところをあまり見かけたことがない、これが大きな理由です。そこで、私たちは Ritorovo CoCoITA が学生に十分に活用されていないのではと推測し、県大生を対象に Ritorovo CoCoITA の利用状況や施設・運営に対する要望を尋ねるアンケート調査を実施しました。

アンケート調査の目的は、伊田商店街のコミュニティスペース Ritorovo CoCoITA の県大生による利用状況を把握することです。そして同施設に対する学生側の要望を把握し、施設利用の改善策を提案することです。

調査は、平成 25 年 1 月 10 日(木)～1 月 21 日(月)にかけて、対象者が受講する各授業終了後に実施しました。対象は福岡県立大学在学生のうち人間社会学部 1、2、3 年生と看護学部 1、2 年生です。対象の学生 655 人のうち、授業で配布できた 480 人全員から回答が得られました。今回は調査票を用いた集合調査法によりアンケートを実施しました。アンケートの回答者の内訳は、各授業単位でアンケートを行った為、若干看護学部の 3 年生が含まれていました。

学年別にみると、1 年生が 40.8%、2 年生が 33.5%、3 年生は 25.6%、1 年生が全体の 4 割と少し多めになっていました。また、学科別にみると、ほとんど偏りなくデータを得ることが出来たことが分かりました。さらに、回答者の住居、通学手段の割合ですが、住居については田川市内のアパート・マンションという回答が 46.3%と、全体の約 5 割を占めていました。

通学手段については、徒歩が最も多く、次に自転車が多いという結果になりました。ここで、

注目したいのは約 20%の人が電車・バスで通学しているという点です。このうち、伊田商店街の近くの伊田駅を利用している人は、今後の Ritorovo CoCoITA の改善によっては、Ritorovo CoCoITA の利用者になる可能性が高いと考えられます。

次に、認知度を示しました。「あなたは、伊田商店街に Ritorovo CoCoITA がオープンしたことを知っていますか？」という質問に対する回答結果を、学年別にグラフで示しました。1 年生で、知っている人が 70.4%、2 年生は 58.4%、3 年生は 67.5%とこの結果から、全学年で「知っている」と回答した人の割合が約 65%程度であることが分かりました。私たちは、認知度は低いだらうと考えていたため、全体的に認知度が予想より高かったことに驚きました。また、学年別に見ると、2 年生の認知度が他学年と比べると低いように思われました。

次に、「知っている」と回答した人に対して、どうやって知ったかを質問したところ、このような結果が得られました。ポスターで知ったと回答した割合が 3 割、インターネットでの広報と比較すると、学内のポスター掲示の方が効果的であることが分かりました。また、商店街で見かけた、友達から聞いたという回答が 2 割となりました。どのようにして知ったか?という質問で「その他」と回答した人は、「大学の講義(社会貢献論等)のなかで聞いた、先生から聞いた等」、「チラシ」、「サークルの会計の説明会で聞いた」、「先輩から聞いた」、「オープンキャンパスのサークル紹介」と記述していました。最も多かった回答は「大学の講義、先生から聞いた」で 45 件ありました。

次に、「Ritorovo CoCoITA を知っている」と回答した人に対して、利用の有無を質問しました。その結果、9 割の学生が Ritorovo CoCoITA がオープンしたことは知っているが、実際に利用したことがないということが分かりました。

「Ritorovo CoCoITA を知っている」と回答した人が、各学年で半数以上を占めており、認知度は低くないことがわかりました。このことより、Ritorovo CoCoITA の認知度が高い割に、利用者が少ないということが分かりました。

では、次に、「Ritorovo CoCoITA を知っているが、利用したことがない」と回答した人に対

して、その理由を尋ねた結果を見ていきたいと思ひます。「利用方法が分からないので」と回答した人が 43.5%、続いて「あまり利用したいと思わないので」が 39.5%、「場所が分からないので」は 33.5%となりました。

このことから、Ritorovo CoCoITA を利用しない主な理由はこの 3 つであることが分かりました。一番回答の多かった「利用方法が分からない」には、「どのような目的で利用する場所なのか分からない」「利用するための手続きが分からない」という 2 つの意味があります。Ritorovo CoCoITA がオープンしたことは知られていても、Ritorovo CoCoITA がどのような施設なのかはあまり知られていないことが分かりました。また、利用しない理由についての「その他」の記述として、「あまり商店街の方に行かない」、「生協や学生研究室を利用している」、「夜の商店街が怖いから」、「外から中が見えるので抵抗がある」「利用してみたいが機会がない」、そしてここでも、「そもそも何をするとところか知らない」という記述が多数みられました。利用時間に関しては、グラフのように「適切である」という回答が約 8 割を占めていました。

県大生のなかでは、Ritorovo CoCoITA の午前 10 時～午後 6 時という利用時間は妥当だと考えられていることが分かりました。また、この利用時間が適切でないと考える人の希望時間として、午後 7 時、午後 8 時まで開けて欲しいというものが目立ちました。また、ほとんど利用したことがない人が多いので時間についての要望がでなかったことも考えられ、利用者が増加すれば、この要望に変化もあると思われまひます。

次に、「利用したことがある」と回答した人の利用内容について見ていきます。「サークル活動」という回答が 40.0%、「展示会などのイベントを見に行った」という回答が 26.7%、休憩 22.2%、電車待ちが 17.8%、勉強場所としての利用が 6.7%となりました。このことから、現在 Ritorovo CoCoITA は県大生のなかでは、主にサークル活動に利用されていることが分かりました。また勉強場所としての利用が少ないことも分かりました。

アンケートの最後には、Ritorovo CoCoITA に対する要望を回答してもらひました。この 8 つの要望はあらかじめ私たちが用意した選択肢で

す。最も多かったのが、「本や雑誌を置いて欲しい」という要望で 34.8%の回答がありました。次に多かったのが「無線 LAN を設置して欲しい」で 26.7%、その次が「日曜・祝日も開放して欲しい」21.5%となりました。「その他」の項目で回答者から寄せられた要望は、「利用方法を明確にして欲しい、広報に力を入れて欲しい」というものが 9 件、「宿泊ができるようにして欲しい」が 3 件、「喫茶スペースが欲しい」が 3 件ありました。その他にも「喫煙できる場所が欲しい」、「ホチキス、カッター、はさみなどを置いて欲しい」、「オープンすぎるので、カーテンをつけて欲しい」、「お年寄りと交流したい」という要望がありました。

今回、調査を実施した結果、「Ritorovo CoCoITA がオープンしたことは知っているが、利用したことはない」という回答が目立ち、また Ritorovo CoCoITA がどのような施設かが、あまり知られていないということも分かりました。

これよりまとめとして、もっと利用してもらひたい為ひにどうするのか、具体的な改善策を提示します。利用しない理由として、調査では「場所が分からない」「どんなふうにするかわからない」「利用手続きが分からない」「あまり利用したいと思わない」という意見が多くありました。

そこでまず、「場所が分からない」、「どんなふうにするかわからない」、「利用手続きが分からない」という 3 つの問題点に対し、広報の仕方の改善という解決策を提案します。具体的には広報効果の高かった、ポスターの内容の見直しなどです。また、「利用したいと思わない」という理由に対しては、アンケートで寄せられた要望を踏まえて、県立大生にとって Ritorovo CoCoITA を魅力あるものにするという解決策を考えました。このポスターは、社会貢献論演習の講義のなかで私たちが作成し、学内に掲示したものです。見直すべき点としては、具体性に欠けた記述、かつ、利用手続きに関する記述がない点です。いくつかの使用例を挙げてはいますが、情報が少なく幅広い目的で利用できるとはいってもどう使うべきなのかがとても曖昧です。また、利用手続きの方法を示さなければ、当然学生は利用したくても利用できません。これらは早急に改善すべき点だと言えます。また、Ritorovo CoCoITA の住所だけを書いて、どこ

にあるか知らない人は、ピンとこないのではないかと考えました。

解決策として、まず住所については、「情報を地図に示す」「～の近く、〇〇から徒歩×分、というような表現にする」などといった感覚的に分かりやすい表示を追加した方が効果的だろうという案が出ました。次に、「利用手続きを明確に示す」「利用規則を明確にする」「これまでの使用例を挙げる」ことで、「どのように利用するのか」「手続きはどうなっているのか」という疑問に答えた方が良いと考えました。

調査結果と改善策を踏まえて、最後に、今後の取り組みを4つ提案します。

1つ目は、利用手続き及び利用規則を明確にすることです。

2つ目に、利用マニュアルの作成です。マニュアルがあれば、1つ目の提案も解決することができます。ただし、これについては伊田商店街振興組合との話し合いのうえ、作成する必要

があります。

3つ目に、広報手段の改善です。広報効果の高かった、ポスターの内容を改善、そして充実させることが重要だと思われます。

そして4つ目に、学生の要望を取り入れた施設及び運営の改善があげられました。こちらも伊田商店街振興組合との十分な話し合いが必要となります。

以上で、私たちの調査報告を終わります。

今後、この調査の結果が Ritorovo CoCoITA の発展につながるよう、実践に移していきたいと思えます。

ご清聴ありがとうございました。

RitrovoCoCoITA 知名度アップと今後の展望について

平成24年度社会貢献論演習受講生

公共社会学科1年 松尾綾華、本永彩果
人間形成学科1年 谷本大幸、山口沙耶
人間形成学科2年 田中玲衣
公共社会学科3年 矢部 航

1

活動の経緯

- 「県大生が利用しているところをあまり見かけない」
 - 「RitrovoCoCoITA」が十分に活用されていないのではないか？
- 県大生を対象に「RitrovoCoCoITA」の利用状況や施設・運営に対する要望を尋ねる調査を実施

2

目的

- 伊田商店街内のコミュニティスペース「RitrovoCoCoITA」の県大生による利用状況を把握する。
- 同施設に対する学生側の要望を把握する。
- 以上のことを踏まえ、同施設利用の改善策を提案する。

3

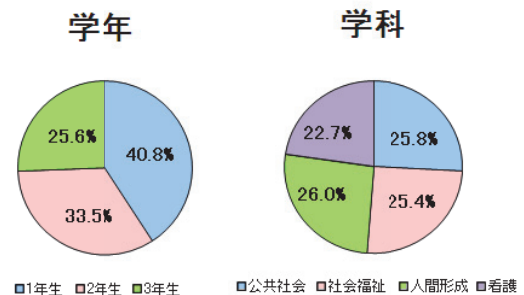
対象および方法

- 実施期間
 - 平成25年1月10日(木)～1月21日(月)
 - 各授業の終了後
- 調査対象
 - 人間社会学部1,2,3年生および看護学部1,2年生の480人(回収率100%)
- 調査方法
 - 調査票を用いた集合調査法

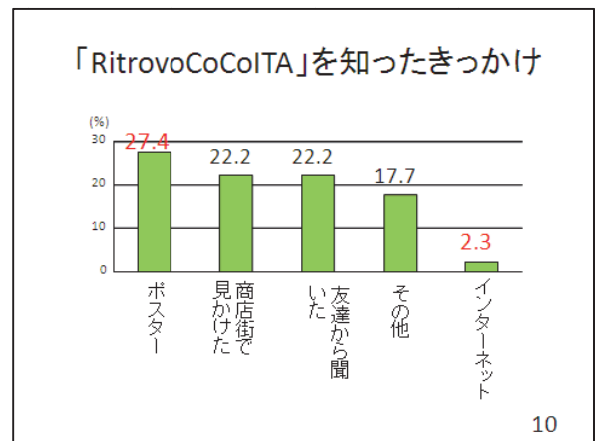
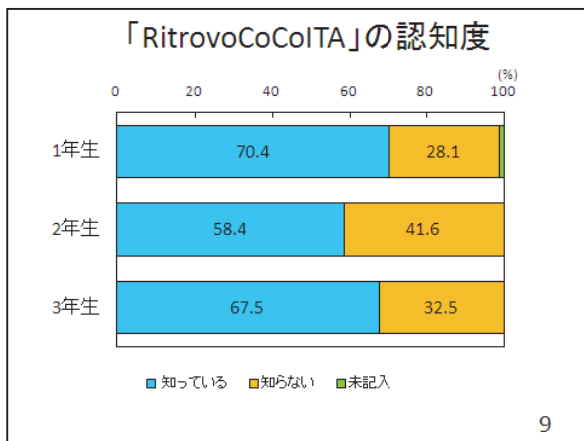
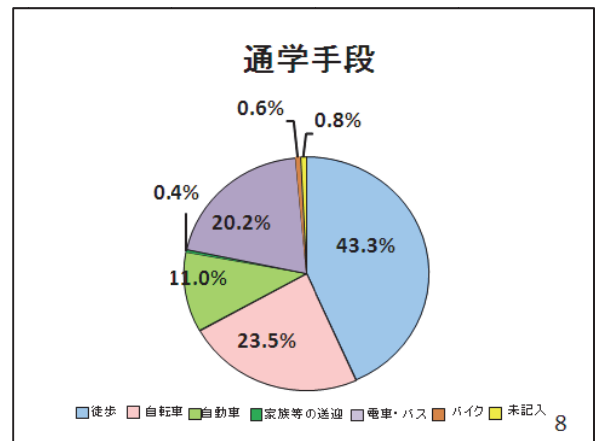
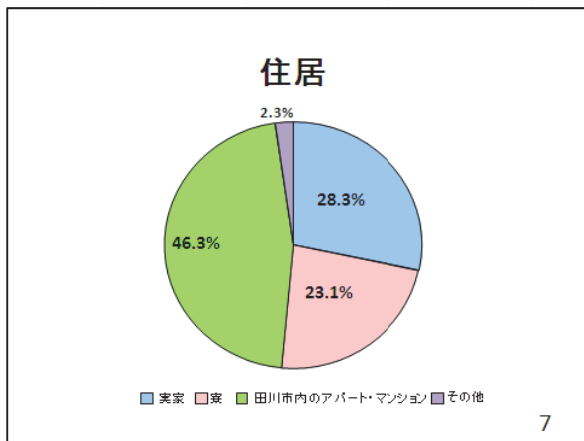
4

	1年生	2年生	3年生	合計
公共社会	39	52	33	124
社会福祉	42	41	39	122
人間形成	45	33	47	125
看護	70	35	4	109
合計	196	161	123	480

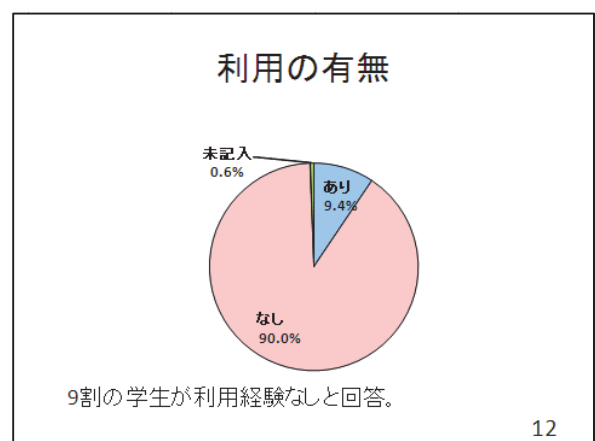
5

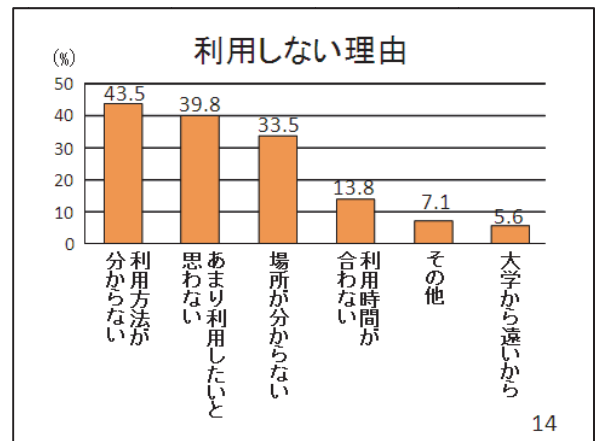
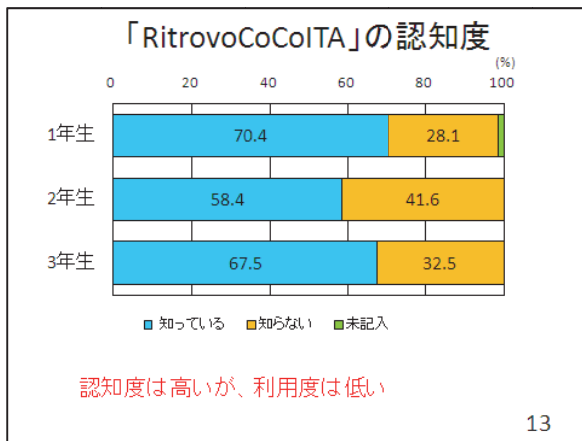


6

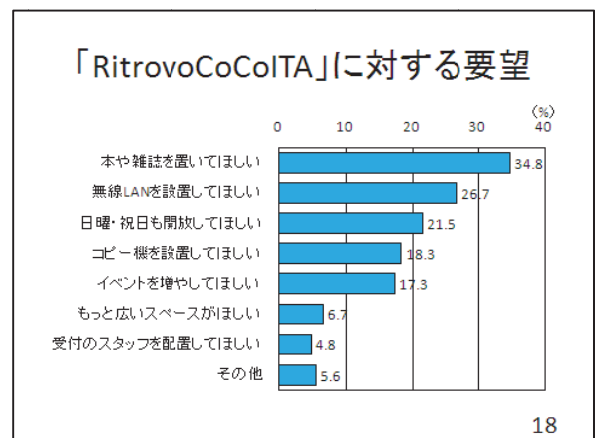
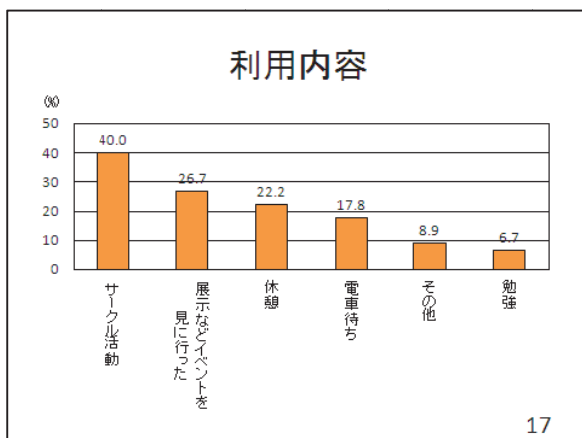
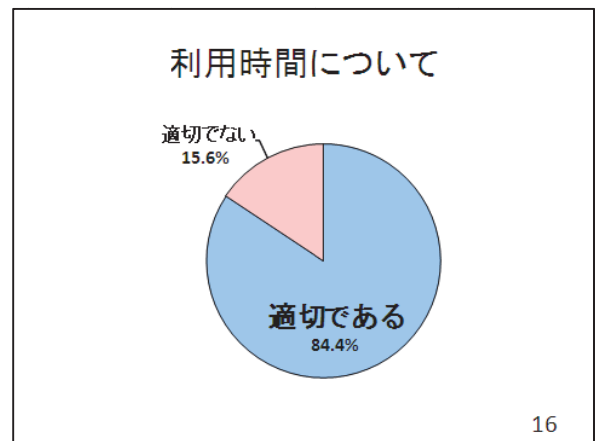


- ### 「その他」の内容
- 大学の講義(社会貢献論等)の中で聞いた/先生から聞いた等
 - チラシ
 - サークルの会計の説明会で聞いた
 - 先輩から聞いた
 - オープンキャンパスのサークル紹介等
- 11





- ### 「その他」の内容
- あまり商店街の方に行かないので
 - 生協や学生研究室を利用しているの
 - 夜の商店街が怖いので
 - 外から中が見えて抵抗があるので
 - 利用してみたいが機会がないので
 - そもそも何をするとところか知らないの
- 等
- 15



「その他」の内容

- ・ 利用方法を明確にしてほしい/広報に力を入れる必要がある(9件)
- ・ 宿泊が出来るようにしてほしい(3件)
- ・ 喫茶スペースがほしい(3件)
- ・ 喫煙できる場所がほしい
- ・ ホチキス、カッター、鋏などを置いてほしい
- ・ オープンすぎるので、ロールカーテン等をつけてほしい
- ・ お年寄りの方たちとも交流もしたい

等
19

まとめ

利用しない理由

- ・ 場所が分からない
- ・ どんなふうに使うか分からない
- ・ 利用手続きが分からない

考えられる改善策

- ・ 広報の仕方の改善
- ・ ポスターの内容の見直し

- ・ 利用したいと思わない → 要望を踏まえて、学生にとって魅力あるものに

20

伊田商店街・福岡県立大学
共同コミュニティスペース
Ritrovo CoCoITA
Ritrovo CoCoITAは、2012年7月28日に開所したコミュニティスペースです。
・サークルの会議・練習・発表・展示の場として
・学習の場として
・地域住民と学生の交流の場として...
など、幅広い目的で利用することが出来ます。

■利用時間：午前10時～午後6時
■休館日：日曜日・祝日、年末等
■使用料：学生無料
■住所：田川市伊田町9番26号
■連絡先：
伊田商店街振興組合
北川理事長 0947-44-6161

21

伊田商店街・福岡県立大学
共同コミュニティスペース
Ritrovo CoCoITA
Ritrovo CoCoITAは、2012年7月28日に開所したコミュニティスペースです。
・サークルの会議・練習・発表・展示の場として
・学習の場として
・地域住民と学生の交流の場として...
など、幅広い目的で利用することが出来ます。

■利用時間：午前10時～午後6時
■休館日：日曜日・祝日、年末等
■使用料：学生無料
■住所：田川市伊田町9番26号
■連絡先：
伊田商店街振興組合
北川理事長 0947-44-6161

22

今後の取り組み

- ・ 利用手続き及び利用規則の明確化
- ・ 利用マニュアルの作成
- 伊田商店街振興組合との話し合いの上、行っていく必要がある
- ・ 広報手段の改善
- 広報効果の高かったポスターの内容の充実
- ・ 学生の要望を取り入れた施設及び運営の改善

23

ご清聴ありがとうございました。

平成24年度社会貢献論演習受講者一同

24